

## 一般情報教育として2単位を卒業要件とする場合

### 1) コア科目 2単位

#### 教育目標

自立した個として、情報社会の中で適正な判断をするために必要な情報社会・情報科学に関する基礎知識を修得する。また、大学における学術活動を効果的に行うために必要な技術と態度を、グループ活動を通じて修得するとともに、情報技術の進展を踏まえた生涯学習の必要性を理解する。

#### 授業の構成例

※毎回の授業は、当該トピックに関連する GE-IET もしくは GE-ISE（情報倫理と情報セキュリティ）の内容を短時間、組み込んで構成する。

- ・ 1回目 ガイダンスと基礎知識の確認

GE-GUI1、GE-GUI2 に基づき、実施する。GE-GUI2 の一部は、授業時間外での学修として構成する。

- ・ 2回目 情報とコミュニケーション

GE-ICO1、GE-ICO2 の内容を基に、関連が深い GE-IET1、GE-AID1 についても触れて構成する。

- ・ 3回目 情報の表現と情報アクセシビリティ

GE-ICO1、2、GE-AID1、GE-IET1 の内容を基に構成する。

- ・ 4～7回目 総合学習

グループでの討論を行う。また討論を踏まえたレポート作成に取り組む。

- ・ 題材として、GE-ICO、GE-IET1、4、GE-ISE1、GE-AID1、2 の内容から取り上げさせる。
- ・ レポートをまとめる際には、GE-IET2（情報社会の権利と法：著作権等）を遵守する。
- ・ レポート作成の際は、GE-AIL の内容を踏まえる（序論、本論、結論、およびトピックセンテンス等）。
- ・ グループでの討論過程では、GE-ICO2 の内容を実践的に理解して行う。
- ・ 提出レポートは相互評価を行い、フィードバックを踏まえ、改善したものを最終版として提出する。

- ・ 8回目 個人情報保護法とプライバシーや肖像権等の関連の権利

GE-IET2 に基づき構成するが、GE-AID との関係性についても補足する。

- ・ 9回目 データベース

GE-DMO の基礎的な内容に基づき構成するが、扱うデータを個人の行動に関わるデータを模したものとすることで、その抽出結果の意味を、GE-IET4、GE-ISE3、4 との関わりを含めて考察させるように構成する。

- 10回目 データの処理と分析

GE-DMO および GE-AIL におけるデータ処理関連の内容を基に構成する。加えて、データ処理結果の分析を行い、その妥当性を GE-IET3、4 の観点から判断させるように構成する。

- 11回目 デジタル表現1（色、画像）

GE-DIG1、2、3 に基づき構成する。

- 12回目 デジタル表現2（音）

GE-DIG1、2、3 に基づき構成する。

- 13回目 アルゴリズムとプログラミング体験

GE-ALP1、2 に基づいて構成する。第11回に取り上げた音の内容と関連させ、音を作るプログラムを作成させる。実行結果の音を確認させ、第12回の内容理解の定着・深化を促す。

- 14回目 暗号と認証（情報ネットワークと情報セキュリティ）

GE-INW および GE-ISE における公開鍵暗号の仕組みに関する内容を基に構成する。

- 15回目 情報社会の将来と限界

当該時の情報社会の状況において、特に必要と思われる内容を GE-AID、GE-INS、GE-IET、GE-ISE からピックアップし、それを基に構成する。